



本日、「インフルエンザ注意報」を発令します 「かからない、うつさない」ように十分注意してください

平成 29 年第 1 週（1 月 2 日～8 日）の感染症発生動向調査で、インフルエンザの定点当たり患者数が 11.07 人（定点数／86 か所、患者数／952 人）となり、注意報発令の基準である 10 人を上回ったことから、インフルエンザ注意報を発令します。

今後、さらなる流行の拡大が懸念されますので、次の点に留意して「かからない」「うつさない」ように十分注意し、感染拡大防止に努めてください。

■かからないようにするために

- ・手洗いをこまめに行いましょう。
- ・人混みへの外出を控えましょう。やむを得ず人混みに入るときにはマスクを着用しましょう。
- ・十分な栄養や睡眠により、体力や抵抗力を高めましょう。
- ・乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度を保ちましょう。

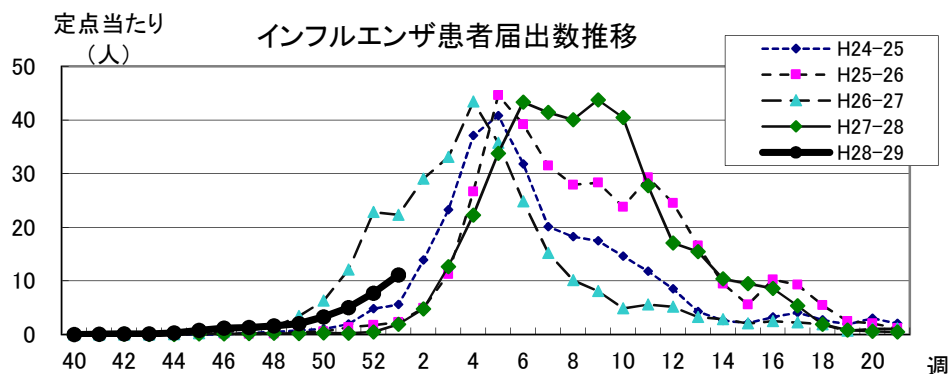
■うつさないようにするために

- ・具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。
- ・かかってしまったら早めに休養し、睡眠を十分にとりましょう。
- ・水分を十分に補給しましょう。
- ・咳やくしゃみがある場合にはマスクを着用するなど、咳エチケットを心がけましょう。
- ・学校や職場は早めに休みましょう。

【発生状況（長野県感染症情報より）】

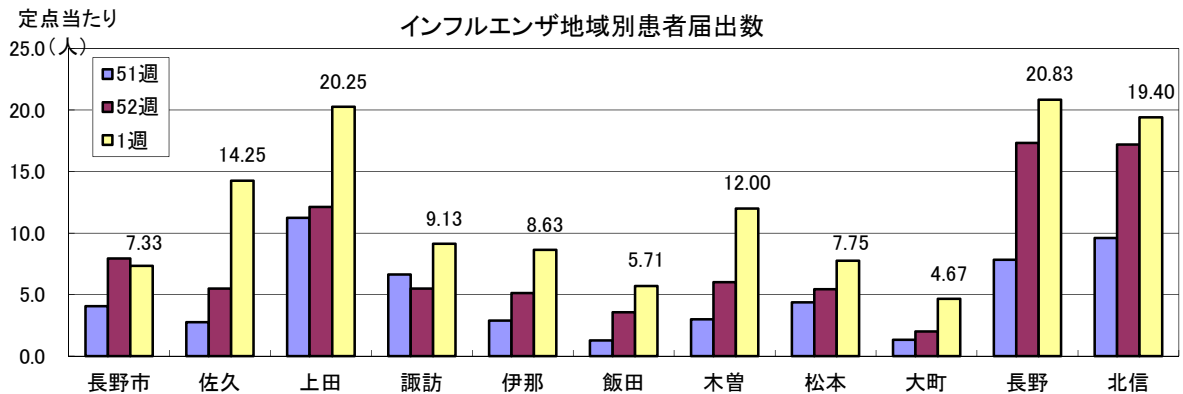
平成 28 年第 46 週（11/14～11/20）に定点当たり 1 人を上回り流行期に入りました。

第 1 週の注意報発令は、過去 5 年間では平成 26－27 年（第 51 週）に次ぎ 2 番目に早い状況です。



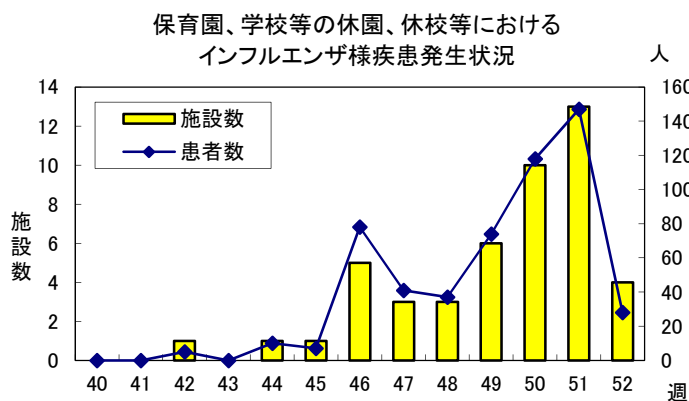
【地域別発生状況】

長野市を除く地域で前週（第52週）を上回っており、特に長野、上田、北信、佐久、木曾地域では注意報基準を上回っています。



【インフルエンザ様疾患による学校等の閉鎖状況】

今シーズン（H28.9.5～）、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の措置をとった施設（学校等）は47施設（延べ）、患者数は545人です。



週	50週	51週	52週	9/5-1/1の計
期間	12/12-18	12/19-25	12/26-1/1	
施設数(延べ)	10	13	4	47
内訳	休校・休園	-	-	1
	学年閉鎖	1	-	5
	学級閉鎖	9	13	41
在籍者数	431	629	88	2,029
患者数	118	147	28	545

【参考：注意報の基準】

国立感染症研究所感染症疫学センターでは、注意報の基準値を「保健所管内の1週間の1定点あたり患者数が10人以上の場合に発令する」と定めています。

県ではこの基準に準じて、県内の1週間の1定点あたり患者数が10人以上となった場合に、全県に「インフルエンザ注意報」を発令します。

しあわせ信州創造プラン（長野県総合5か年計画）推進中

オール信州で取り組む
地消○地産
「地域の消費」と「地域の生産」を結んで
地域内経済循環の輪を広げます。

健康福祉部保健・疾病対策課感染症対策係
(課長)小松仁 (担当)山崎千速 笠原ひとみ
電話 026-235-7148 (直通)
FAX 026-235-7170
E-mail hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp